

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 4月 1日

事業所名 あすなるクラブ鍋島

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			構造化された空間となっている。	
	2	職員の配置数は適切である	6				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		6		バリアフリーではないが、マットなどをひいて、安全対策をおこなっている。	出来る範囲でバリアフリーに努めていく。設置できない場所は危険回避のために見守りを行っている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6			毎回職員間で振り返りを行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			必ず職員間で共有するように努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			6		現時点では外部評価は行っていないが、今後検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			事業所内での勉強会の機会も設けている。	
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			職員間で会議の場を設け、意見を出し合い、作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			話し合いの場を設け、意見を出し合っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			飽きずに楽しく参加できるよう工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			利用時間に応じて、個別や集団での活動を設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			個々に応じて、どちらも参加できるような計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			朝礼、昼礼で確認している。また、終礼では振り返りを行っている。	

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			振り返りを行い、その日不在の職員にも周知するように努めている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			記録後、情報を共有し、必要であれば会議の場を設けている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			半年に一度、行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6				
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			児童発達支援管理責任者が参加している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6			年間計画やマニュアルに沿って、行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6			保護者様からの情報をもとに、支援者同士、確認しあっている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6			ご利用前に情報共有させてもらうように努めている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		6		要望があれば行っている	卒業される利用者様や移行される事業所様と連携をとれるようにしていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			助言や研修を受け、支援に生かすようにしている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			6		今後機会があれば、行っていきたい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	6			放デイ連絡協議会へ参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			送迎時や連絡帳にてシ情報共有するように努めている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6			相談があった時は、適宜助言等や相談機関の紹介を行っている。	保護者様の悩みに寄り添い、ご家庭での関りについて助言できよう努めていきたい。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			契約時に説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			相談があった時には、行うように努めている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6			月に一度、保護者様同士の交流の機会を設けている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			迅速に職員間で共有し、対応するように努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			通信やインスタで発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	6			十分注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			個々に応じたツールを設定している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			6		外国人の方との交流は、おこなっている。今後も可能な範囲で交流の場を設けていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6			契約時に保護者様に周知するようにしている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			毎年、設定を変えて実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			毎年必ずおこなっている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			危険回避のために、やむを得ず身体拘束を行う場合は支援計画書に記載するようにしている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			保護者様とも連携をとり、対応するようにしている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			発生後は迅速に職員間で共有し、対応策を検討している。	